

追 悼

豊田 芳年 名誉会長の 逝去を悼む

豊田芳年名誉会長((株)豊田自動織機名誉会長)が
平成29年1月8日、逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈り申し上げます。



豊田 芳年 名誉会長の訃報に接して

一般社団法人中部経済連合会
会 長 豊田 鐵郎

豊田芳年さんは、平成16年10月から平成19年5月まで中経連の第11代会長を務められ、中部国際空港の開港や2005年日本国際博覧会の開催に尽力されました。また、平成17年9月、「魅力と活力溢れる中部の実現 ～空港・万博の成果を踏まえた中経連の活動～」を策定し、空港・万博の2大プロジェクトの成果をもとにした長期ビジョンを提唱しました。このビジョンをもとに、産業振興や観光振興、インフラ整備促進など様々な事業を推し進め、平成19年4月、ファインセラミックスセンター内にナノ構造研究所(ナノテクセンター)を設立するなど、中部経済の基盤強化に取り組まれました。

その後も、中経連の名誉会長として、大所高所から地域の将来のために貴重なご意見をいただき、長きにわたり、中部圏の発展に大きな功績を残されました。

私個人としては、平成3年に米国トヨタ自動車販売から豊田自動織機に入社後、部下として直接ご指導を賜り、時には厳しく、時には温かな言葉をかけて育てていただき、深く感謝しております。

厳しい中にも優しさとユーモアをもった方で、経営者として、経済人として、私にとって大変大きな存在であり、目標でありました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

中経連における豊田芳年氏の足跡

2004(平成16)年

- 10月 中経連会長に就任
 - 〃 「税制改正に対する意見」を公表
- 11月 「経済政策に対する提言」を公表
- 12月 「情報セキュリティに関する提言」を公表

2005(平成17)年



中部国際空港セントレア開港記念式典
(写真提供:中部国際空港(株))



2005年日本国際博覧会開会式典

- 2月 「伊勢志摩地域の観光再生に向けて」を公表
 - 〃 中部国際空港(セントレア)が開港
- 3月 東海環状自動車道の東回りルートが開通
 - 〃 2005年日本国際博覧会(愛・地球博)が開幕
- 7月 「中部の新道路ネットワークビジョン ～『国際競争力強化』『モノづくり』『モビリティの向上』を支える道づくり～」を公表
- 9月 「魅力と活力溢れる中部の実現 ～空港・万博の成果を踏まえた中経連の活動～」を公表
- 10月 「税制改正に対する意見」を公表
 - 〃 「巨大地震に備えた中部のインフラ整備～モノづくりを支える物流面からの提言～」を公表
 - 〃 中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会が発足
- 11月 「経済政策に対する提言 ～国・地方の構造改革を中心として～」を公表

- 12月 「中部州の実現 ～効率的で小さな政府をめざして～」を公表

2006(平成18)年

- 3月 ナノテクセンター(仮称)設立準備室を開設
- 6月 「外国人児童生徒の教育保障の構築に向けて」を公表
 - 〃 2005年日本国際博覧会協会理事会において愛・地球博の発展継承事業に「ナノテクセンター」が盛り込まれる
- 7月 中経連ベンチャービジネス支援センターを「中経連新規事業支援機構」に再編
 - 〃 「人口減少・少子高齢化に適応した社会の実現に向けて」を公表
- 9月 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催誘致を要望(同年11月にも要望)
- 10月 「税制に対する意見」を公表
 - 〃 「ユビキタス社会に向けて ～産業振興に向けたユビキタス技術の先導的活用～」を公表
- 11月 「経済政策に対する提言」を公表
- 12月 「安心・安全な産業廃棄物処理を目指して～資源循環型社会“広域環境ループ”の構築～」を公表

2007(平成19)年



ナノ構造研究所の研究棟起工式
(写真提供:(一財)ファインセラミックスセンター)

- 1月 東海北陸自動車道の飛騨トンネルが貫通
- 2月 「地球温暖化問題と交通体系のあり方」を公表
- 4月 ファインセラミックスセンター内にナノ構造研究所(ナノテクセンター)を設立
- 5月 中経連会長を退任、名誉会長に就任